

力学系数学

6

\mathbf{R}^{2n} の座標を $(\mathbf{q}, \mathbf{p}) = (q_1, q_2, \dots, q_n, p_1, p_2, \dots, p_n) = (x_1, x_2, \dots, x_{2n}) = \mathbf{x}^T$ と書く．ただし，ベクトルまたは行列 A の転置を A^T と書く．関数 $F(\mathbf{q}, \mathbf{p}) = F(\mathbf{x})$ が与えられたとき， $(\mathbf{q}(t), \mathbf{p}(t))$ に対する微分方程式

$$\frac{dq_i}{dt} = \frac{\partial F}{\partial p_i}, \quad \frac{dp_i}{dt} = -\frac{\partial F}{\partial q_i}, \quad i = 1, 2, \dots, n \quad (1)$$

を， F が生成するハミルトン方程式と呼ぶ．以下の問いに答えよ．

(i) $2n$ 次の実対称行列 $A = (A_{jk})$ を用いて関数 $F_A(\mathbf{x})$ が

$$F_A(\mathbf{x}) = \frac{1}{2} \mathbf{x}^T A \mathbf{x} = \frac{1}{2} \sum_{j,k=1}^{2n} x_j A_{jk} x_k \quad (2)$$

と与えられるならば， F_A が生成するハミルトン方程式は

$$\frac{d\mathbf{x}}{dt} = J A \mathbf{x}, \quad J = \begin{pmatrix} 0_n & I_n \\ -I_n & 0_n \end{pmatrix} \quad (3)$$

と書けることを示せ．ここで J は $2n$ 次正方行列であり，その中の I_n は n 次単位行列， 0_n は n 次零行列である．

(ii) $2n$ 次の実対称行列 $B = (B_{jk})$ を用いて関数 $F_B(\mathbf{x}) = \frac{1}{2} \mathbf{x}^T B \mathbf{x}$ を与える． $\mathbf{x}(t)$ はハミルトン方程式 (3) をみたすとする． $F_B(\mathbf{x})$ に $\mathbf{x}(t)$ を代入したとき，任意の初期条件 $\mathbf{x}(0)$ に対して $F_B(\mathbf{x}(t))$ が t に依らないための必要十分条件は

$$A J B - B J A = 0_{2n} \quad (4)$$

であることを証明せよ．

(iii) $A = I_{2n}$ とする．また， n 次正方行列 a, b, c を用いて

$$B = \begin{pmatrix} a & b \\ b^T & c \end{pmatrix}, \quad a^T = a, \quad c^T = c$$

とおく．このとき， B が式 (4) をみたすための必要十分条件は

$$a = c, \quad b^T = -b$$

であることを証明せよ．

(iv) とくに $n = 2$ とし， B を

$$B = \begin{pmatrix} 0 & 1 & 0 & 0 \\ 1 & 0 & 0 & 0 \\ 0 & 0 & 0 & 1 \\ 0 & 0 & 1 & 0 \end{pmatrix}$$

とする． F_B が生成するハミルトン方程式を解いて， $(\mathbf{q}(t), \mathbf{p}(t))$ を $(\mathbf{q}(0), \mathbf{p}(0))$ と t で表せ．また， $(\mathbf{q}(t), \mathbf{p}(t))$ が t の周期関数であることを示し，その周期を求めよ．